

通信小海

多くの人のより所に

牧師 水草修治

「なにをそんなにしょんぼりしているの？」と家内にきかれました。十月三十日、見晴台の教会堂建設の大工さんたちの仕事が終わった日の夕食時です。教会堂ができることはもちろんうれしいことですが、これで大工さんたちといっしょに汗を流す日々が終わったかと思うと、なんだか寂しくなってしまうのです。われながらまるで子どもみたい。でも、私にとって、素人ながらお手伝いさせていただいた日々がそれほど心に残る思い出になりました。

感謝

八月六日、定礎式。基礎工事は土橋建設さ

【今月のひとば】
「万軍の主。あなたのお住まいはなんと慕わしいことでしょう。」

詩篇八十四一

日本同盟基督教団 松原湖高原教会 牧師水草修治

牧師館 長野県南佐久郡小海町大字豊里一十六 一

〒三八四一一三 二六七九二四七七六

郵便振替 五三 六一六八三

んと井出左官さんが丁寧にしてくださいました。同時に、水道に井出建設の竹原さんが汗を流してくださいました。そして九月十四日は棟上げ。いよいよ新井建設さん、大秀建設さんたち大工さんたち、そして油井建具さんの登場。また、保科板金さんが、小海駅とリエックス礼拝堂の塔工事の経験を生かして美しい塔に仕上げてくださいました。そして、暖房や照明の工事に新津電気さんがはいってください、これから畳を新津畳店さん、内装を新津インテリアさんが担当してくださいます。一軒の建物が建つためには実に多くの人たちの協力が必要なのだと知りました。もし書き落とした工事関係の方がいたら、ごめんなさい。

親方のことは
耳に残った「親方のことばが」施主様の身になって「でした。私自身が教会の皆さん

見晴台の教会へどうぞ

(小海駅東の丘の上。十一月十八日まで、ヤナシヨウ向かいの十字架の家です)

集会あんない

日曜日

朝礼拝 午前十時から十一時

夕礼拝 午後七時半から八時半

水曜日

聖書研究・祈り会 午後七時半

*初めての方も歓迎します。

*聖書を読む会を、八千穂・海尻・小海でしています。お問い合わせください。

*個人的なご相談にも乗ります。

とともに施主の一人なのに、ややこしいところは「めんどろだなあ」と思う時、「施主様の身になって」という言葉でした。そういうえば、イエス様が「何事でも自分にしてもらいたいことは、ほかの人にもそのようにしなさい。」とおっしゃいました。「それが神の命令の要約だ」と。A親方がふとした会話のなかで「自分の家みたいなものですから。」とおっしゃったときには、もう脱帽でした。

こんなことを書くとき建設現場は、なだか道場みたいにかたくるしかつたみたいですが、実に楽しい現場でした。一汗かいたあとの休憩時間、白菜の漬物はおいしすぎて私ばかり食べてしまいました。親方のおかみさん、ごちそうさまでした。

主イエスと聖徳太子

そうそう、興味深いことをいなせな職人Tさんに教わりました。私が「イエスさまも大工さんだったんですよ。」と話したら、「そうかい。日本じゃ昔から大工の神様は聖徳太子だよ。」と教わったのです。そこで調べてみたら、実際、墨壺の発明者は太

子であるとか、法隆寺にある鎌倉期の作品に太子が曲尺を手を持っているものがあるとかいう聖徳太子を大工の祖とする信仰についての文章がありました。

これくらい的一致は偶然かもしれませぬ。けれども、聖徳太子と主イエスには、もう一つ符合があるのです。「聖徳太子」という名前は、死後に付けられた尊称であって、もとの名前は「厩戸皇子（ウマヤトノミコ）」でした。それは母親である穴穂部間人皇女が、馬屋の戸口で彼を生んだからです。ところが、主イエスが母マリヤから生まれたのはご存知のようにベツレヘムの馬小屋でのことです。これも偶然でしょうか？

広い世間にはやっぱりこういう研究をしている人がいました。それによれば、聖徳太子（厩戸皇子）の誕生（五七四年）にまつわる伝説は、『日本書紀』が書かれた当時日本に伝わっていたキリスト教の一派景教によってもたらされたキリスト誕生の物語にならって作られたものだそうです。唐の時代、中国の都長安にはキリスト教会がたくさんありました。だとしたら、大工さんたちは昔から、イエス・キリストの影をあがめていたと

いうことになります。その影の本体は主イエス・キリストだったのです。

多くの人のよりどころに

「多くの人のよりどころとなりますように」大工仕事の完了した夕闇迫る現場で「親方がこの会堂の前途について、こうおっしゃってくださいました。涙が出るほどうれしかったです。そのためにこそ、この会堂は建てられ神様に捧げられました。みなさん、どうぞ気軽に寄りなんし、お茶でもすすつていきなんし。親方のおかみさん、おいしすぎる白菜漬の作りかたを家内に教えてやってください。」

「万軍の主。あなたのお住まいはなんと慕わしいことでしょう。私のたましいは、主の大家庭を恋い慕って絶え入るばかりです。私の身も心も、生ける神に喜びの歌を歌います。雀さえも、住みかを見つけました。つばめも、ひなを入れる巢、あなたの祭壇を見つけました。」詩篇八十四：一 三

新しい人生

「だれでもキリストのうちにあるなら、その人は新しく造られたものです。古いものは過ぎ去って、見よ。すべてが新しくなりました。」第二コリント五章十七節

「なんといいことをしてしまっただろう。なんといい罪を犯してしまっただろう。もう取り返しがつかない。」私たちに人生を振り返ると、そんなふうに思うことがあるかもしれません。私自身振り返るとそういうことが二つあります。でも、時は過去から未来へと流れる川であり、私たちはその舟人ですから後戻りすることはできません。

「順境には喜び、逆境には反省せよ。」と聖書にもありますように反省はたいせつなことです。しかし、後悔はただ人を絶望に至らせるだけです。主イエスが最期の

一週間都エルサレムに入ったとき、十二弟子の一人イスカリオテ・ユダという男は、主イエスを裏切って敵のもとに走り銀貨三十枚を受け取りました。けれども実際に主イエスを引き渡すと、ユダは「私は罪を犯した。罪の無い人の血を売ったりして。」と後悔して、絶望のうちに自殺してしまいました。

他方、十二弟子の筆頭格にペテロという情熱的でおつちよこちよいの男がいました。主イエスが十字架にかけられる前夜、ご自分が逮捕され十字架にかけられることを予告すると、ペテロは「たとえ全部の者があなたを裏切っても、私は決して裏切りません。」と大見得を切りました。果たしてその数時間後、深夜に主イエスは逮捕されてしまいました。ペテロは縄をかけられたイエスの後にひそかについて、裁判所の庭に入ります。ところが、ペテロは、かがり火にあつまつた人々に囲まれて、「おまえはあいつの弟子だろう。」と尋問されると、「おれはイエスなんぞ知らねえ。」と二度もイエスを否定したのです。そのときあざけるように二ワトリが鳴きました。とたんに、ペテロはその場を逃げ出し、おいおい泣きながら主を呼び求め、罪を悔い

改めました。

後に、復活された主イエスはペテロを赦し、ペテロをキリスト教会の指導者としてお立てになります。ペテロの回復は、主の無限の愛と真実のあかしとなりました。

神に心を閉ざし神に背を向けたまま後悔しても、そこには絶望と死しかありません。しかし、神に向かつて悔い改めるならば、そこに新しい人生が始まります。ペテロの裏切りという人生の汚点は消えませんが、その汚点さえも主イエスの愛と力の証拠として用いられているではありませんか。

「だれでもキリストのうちにあるなら、その人は新しく造られたものです。古いものは過ぎ去って、見よ。すべてが新しくなりました。」キリストを離れて後悔しつづけるのはやめて、「キリストのうちに」いらつしゃい。そこに新しい人生が始まります。キリストのうちにとどまっているなら過去の憎しみも後悔も超えて、新しくすばらしい人生が始まるのです。

クリスマス・リースを 作りましょう

日時 十一月十七日(土)

午後一時半から三時半

場所 馬流牧師館

(ヤナシヨウの向かい)

費用 一個五百円

持ち物 ペンチ(好みの材料)

クリスマスが近づいてきました。今年
は十二月二日からアドベント(待降節)
にはいりませぬ。一足早めにリース作りを
しませんか。お子さんもこいっしょに。

△幸福な家庭△

神様が本当にいること

今年が畑が借りられなかったので、例年の
ようにこどもたちと秋の収穫ができなかつ
たのが、心残りです。芋掘りなどしていると、
子どもたちは「ほんとうに神様は生きている
んだねえ」と実感するのです。子どもだけで
はありません。父親も母親もそつです。

春に種芋を土のなかに埋める時、「どうし
て土のなかに埋めてしまつた?」と子どもは
聞きます。うちの子どもたちはジャガイモが
大好きで、ポテトフライを作ると争って食べ
るほどですから、それを土の中に埋めてしま
うのはもったいないとも思つたのでし
ょうか。

私は子どもがそんな質問をすると、「それ
はね、ここに埋めておくと、暗いうちにこつ
そりとイエス様がやってきて、お芋をふやし
ておいてくれるからだよ。」とおもしろがっ

説明します。ピノッキオはきつねと猫に「木
の下にお金を埋めておけば何倍にもなるよ」
とだまされて、たいせつなお金を失つてしま
いましたが、私たちのイエス様は私たちがだ
ますことなく、ちゃんとお芋をふやしてくだ
さいます。秋の畑では、それが確認できるの
です。「すごいなあ。イエス様がふやしてく
れた。」と子どもたちは大喜びです。

偉大で愛に満ちた神様のみわざは私たち
の日常生活のなかにあふれています。心の目
がちゃんと開いていれば、生ける神を見るこ
とができるのです。

里芋

星野富弘

春に埋めた一粒の種
今日掘り起こせば

髭もじゃや赤ん坊がこつそり
真つ暗な土の中

どんな仕掛けがあつたのか
時間をかけた手品のよう

見えない幕の向こうで
誰かが微笑んでいる